

高齢者看護援助論

単位数：2単位

- 原 祥子：地域・老年看護学講座教授
加藤 真紀：地域・老年看護学講座准教授
吉岡佐知子：松江市立病院副看護局長（老人看護 CNS）
島根大学医学部臨床看護教授
塩川 ゆり：訪問看護ステーションあおいそら管理者

1. 科目の教育方針

老人看護専門看護師に求められる、病院・施設における高齢者とその家族に対する卓越した看護の実践、看護職に対する教育、看護職を含むケア提供者に対する相談、ケア調整、倫理的調整の各役割機能を果たすことのできる能力を開発する。

2. 教育目標

- 1) 病院・施設において複雑な健康問題をもつ高齢者とその家族について、生活環境調整・生活活動調整・家族関係の調整に関する看護援助を実践する能力を養う。
- 2) 高齢者ケアが円滑に提供されるための、ケア提供者に対する教育・相談や関係者間の調整の実際を学ぶ。
- 3) 高齢者のエンドオブライフ・ケアのあり方について探究する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) 井部俊子，大生定義監修：専門看護師の思考と実践，医学書院，2015.
- 2) 金川克子，野口美和子監修：高齢者のための高度専門看護（最新・高齢者看護プラクティス），中央法規，2005.
- 3) 中島紀恵子，石垣和子監修：高齢者の生活機能再獲得のためのケアプロトコールー連携と協働のために，日本看護協会出版会，2010.
- 4) 桑田美代子，湯浅美千代編集：高齢者のエンドオブライフ・ケア実践ガイドブック第1巻死を見据えた日常生活のケア，中央法規，2016.
- 5) 桑田美代子，湯浅美千代編集：高齢者のエンドオブライフ・ケア実践ガイドブック第2巻死を見据えたケア管理技術，中央法規，2016.

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	専門看護師制度設立の背景と専門看護師の要件	原
2	老人看護専門看護師の役割と機能、活動の拡大 エビデンスに基づく実践（EBP）の実行	原
3	病院・施設における CGA とチームアプローチ ・高齢者の摂食・嚥下の評価とリハビリテーション ・高齢者のフレイル（frailty）とサルコペニアへのアプローチ	原 （リハビリテ ーション部・ 酒井）
4		
5	病院・施設における生活環境・生活活動調整に関する実践・相談・教育 ・せん妄の予防と対応を含む	吉岡
6	病院・施設における家族関係の調整に関する実践・相談・教育	吉岡
7	高齢者看護における倫理的課題と倫理調整	吉岡
8	複雑な健康問題をもつ高齢者/家族に対する看護実践とケア調整	吉岡
9	地域連携・退院支援を通して高齢者のケアを考える ・高齢者/家族に対する調整・倫理調整を中心に	塩川
10		
11	終末期にある高齢者とその家族への看護援助（1） ・End-of-Life Care の概念、終末期ケアを導くチーム連携ケアモデル	原
12	終末期にある高齢者とその家族への看護援助（2） ・介護保険施設における End-of-Life Care の実践・相談・教育 ・高齢者の End-of-Life Care における倫理調整 ・高齢者の看取りケアモデルの探究（文献及び事例検討）	加藤
13		
14		
15	高齢者看護における実践的研究の動向と課題	原